

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	04 07 09	中期総合計画主要施策番号	3-01	担当課	部・課	健康福祉部健康長寿課	
事業名	がん予防推進事業			内線	2650		
				E-mail	kenko-choju@pref.nagano.lg.jp		
実施期間	H17 ~	根拠法令等	がん対策基本法、県がん対策推進計画、県がん対策推進アクションプラン				
実施方法	県が直接実施、国が県へ委託					国庫・ 県単	国庫補助事業・ 県単独事業

  

事業の概要等	目的 (必要性)	・ 県民の健康保持・増進を図るため、がん予防（予防及び早期発見）に関連する事業を実施する。 ・ 健康長寿 1 の確立のため、がん検診受診率の向上を図る。 ・ 効果的ながん予防対策を実施するため、地域がん登録事業を実施する。				
	対象	・ 県民				
	目指すべき姿	・ がんによる死亡者数の減少【75歳未満のがんの年齢調整死亡率 20%減少】(平成29年度まで) ・ すべてのがん検診の受診率を50%以上に向上(平成24年度まで)				
	事業内容	・ 健康診査管理指導事業：市町村及び検診機関に対し、検診の実施方法や精度管理の在り方等について、専門的な見地から指導・助言を行い、適切ながん検診の推進を図る。 ・ 地域がん登録事業：県内で発生した全てのがん患者の登録を実施することにより、県内のがんの実態を明らかにするとともに、がん予防対策の推進及びがん医療の向上を図る。 ・ がんに負けない社会づくり県民運動推進事業：ショッピングセンター等の集客力の高い場所でのがん検診受診啓発活動を実施し、がん征圧の機運の醸成を図る。 ・ マンモグラフィ検診従事者養成事業：乳がんの発見に有効な精度の高いマンモグラフィ検診を行うために必要な医師、技師を養成するため、検診従事者を対象とした講習会を開催する。				

  

事業コスト	区 分	単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 委託料 9,623千円 役務費 2,121千円 需用費 1,877千円 報償費 753千円 等
	最終予算額 (A)	千円	17,590	15,749	20,887	
	決 算 額 (B)	千円	17,590	15,749		
	B(H24はA)のうち一般財源	千円	11,730	10,071	5,503	
	概 算 人件費	人	0.30	0.30	0.30	
	概算事業費 (B(H24はA) + C)	千円	20,085	18,226	23,364	

  

事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 ・健康診査管理指導協議会がん検診検討協議会に再編し、市町村がん検診の事業評価と精度管理を実施した。 ・ショッピングセンターにおいてがん検診啓発イベントを実施し、1,500名の入場者に対して検診の大切さを訴えた。 ・女性特有のがん検診推進事業の実施に合わせて、検診機関の受け皿を確保するため、市町村相互乗入れ制度を実施した。 (効率指標 算出式) 該当事業費/研修会数
	がん予防研修会の開催回数(活)	回	38	22	30	
	啓発物品の作成・配布(活)	個・枚	80,000	80,000	50,000	
	地域がん登録室届出票枚数(成)	枚	4,974	15,796	27,000	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 研修会1回あたりの当該事業費	千円/回	4.2	3	1.6	

  

事業の成果	事業の目標(H23)	事業成果・評価	評価区分
	・がん検診を定期的に受診している者の割合(全体)を平成24年度に50%にする。 ・がんによる死亡者数の減少[75歳未満のがんの年齢調整死亡率20%減少](H29)を目指す。	・女性特有のがん検診において、若年層の新規受診者を開拓した。 (H19受診率：子宮がん15.6%、乳がん8.1%) (H22クーポン券利用率：子宮がん25%、乳がん26.6%) ・年齢調整死亡率は減少している。 (H17：75.7 H22：67.3)	b 期待どおり

  

事業の課題	区 分	判 定 ・ 説 明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明 がん検診の必要性の普及啓発のために、市町村ではできない全県的な支援や「検診機会の充実」が必要。 また、がん検診事業のプロセス指標の把握及び評価・精度管理は全県としてデータを蓄積する必要がある、見直す余地は当面ない。	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

  

総合分析等	総合分析 (今後の課題、取組方針等)	・ 検診受診率の向上のため、引き続き、研修会や啓発イベント等の実施を行っていく必要があるが、併せて、全市町村において質の高いがん検診を住民に提供していくために、市町村がん検診事業評価・精度管理を実施し、助言や情報提供を行っていく。				
	特記事項	目標値であるがん検診受診率50%は国民生活基礎調査によるもの。[(H19) (H22)] 胃34.0% 35.4%、肺 28.2% 27.7%、子宮23.7% 26.8%、乳 24.4% 25.9%、大腸29.0% 28.1%				